タイトル

私はシェルビー・ライドンと申します。私のキャップストーンのタイトルはタトゥーに関する日本とアメリカの大学生の見解の相違です。

警告

まず、この発表では、のタトゥーや等のイメージが入っていますので、
ご承知おきください。

スライド１

これが概要です。

スライド２

私がこの研究をしようと思ったのは、私自身がタトゥーをしているからです。一年間日本の岡山大学に留学していた時, 日本ではタトゥーをしている人はあまりいないことに気が付きました。しかし、アメリカのカリフォルニアでは、タトゥーをしている人をよく見かけます。そしてタトゥーに対して様々な社会的見解ももっと知りたいと思ったからです。

スライド３

これが私の研究質問です。

１．日本とアメリカの新規卒業生も含む大学生はタトゥーに対してどのような見解を持っているか

２．アメリカと日本の大学生はタトゥーをするかしないかをどのように決めるか

です。

スライド４

ではまずこの研究の背景についてお話します。

スライド５

まずはじめに、世界のタトゥーの歴史についてお話します。古代エジプトでタトゥーをしているのは女性だけでした。タトゥーはをするために、戦争のまじないとしていられました。そして、2160年ごろには、タトゥーによってが守られるというなもありました。昔、マオリ族はタトゥーを「」として使い、タトゥーがない人は身分的地位が低かったと言われています。

スライド６

その上、1820年ごろ、顔にタトゥーをしたマオリ族の頭を集めるのに人気がありました。

スライド７

日本では、1200年頃、アイヌ族は顔にタトゥーをしました。そして、江戸時代\*の「水滸伝」にはタトゥーをしている武士が出ています。その後、江戸時代にを見分けるために罪をした人にタトゥーが使われました。

スライド８

その他に、浮世絵の芸術家がな場面やの動物をタトゥーにしました。これらが刺青と呼ばれました。明治天皇は刺青の悪いイメージを危ぶみ、タトゥーを禁止する法律を出しました。最後に、1870年から1920年まで、日本のタトゥーアーティストとして外国人にだけ、タトゥーを入れることができました。

下の写真は刺青をしている武者の浮世絵の例です。

スライド９

このスライドは伝統的な日本のタトゥーを示しており、「てぼり」と呼ばれています。

スライド１０

次は、アメリカのタトゥーの歴史です。１８４２年に、ジェームス・オコーネルが最初にタトゥーを入れた人として知られています。

１９世紀には、タトゥーをしている人は、サーカスやサイドショーの一部である「フリークショー」というアトラクションに出ていました。１９４０年頃、ノーマン・コリンスというタトゥーアーティストは日本人のタトゥーアーティストのおぐりかずおと出会い、第二次世界大戦中、また戦後のハワイでにタトゥーを入れたことは有名です。そのは日本の入れ墨に影響されています。

スライド１１

更に、１９５０年ごろにはアメリカではなタトゥーショップで、「」なイメージを作りたいという若い人がタトゥーを入れました。そして、「のタトゥー」と呼ばれるものは、手作りのタトゥーの、えば、安全ピン、ペン、マーカーインク等で作られました。

スライド１２

これはアメリカの伝統的なタトゥーの例です。

スライド１３

このスライドは、アメリカと日本の文化にどのようにタトゥーがしんとうして行ったかについてお話します。

最初は日本です。のタトゥーを入れた人々がギャングや「やくざ」にわりました。そして、第二次世界大戦後、やくざのがしました。最近、2012 年に、橋本徹市長が市の　として働いている人をにタトゥーをしている人数の調査を行ないました。

アメリカでは、1804年に、ジャン・バプティスト・カブリがカーニバルで一番最初にタトゥーを入れた人として知られています。そして、第二次世界大戦中と戦後に、の間で非常に人気になりました。1960年頃、タトゥーはに一般化され、２０年後に、パンク文化が始まりました。また　９０にタトゥーを入れた有名人が増え始めます。

スライド１４

次はタトゥーの統計です。1999年に、日本人のほりかずという有名なタトゥーアーティストののうち、ヤクザが99％を占めていました。１０年後、その数は半分に減り、2007年には、入れ墨があるヤクザは102,000人ぐらいになったと言われています。2012年、大阪府は社会人にタトゥーに関するアンケートを実施し、34,000人中で、タトゥーを入れていた人は110人だけで、そのパーセンテージは　０.３％未満でした。

日本でのタトゥーの統計はで、日本とアメリカのタトゥーの統計を比べることは非常に難しかったです。

アメリカでは、2013年、アメリカの総人口の14％がタトゥー をしていることが分かりました。コーソは男性は女性より15％多くタトゥー をしていて、84％のタトゥーをしている人はしていないと報告しています。しかし、タトゥーをしていない人の１／３はタトゥーをしている人は悪いことをすると思っていて、女性は男性より痛みに強いということも分かりました。

スライド１５

研究です。

スライド１６

これは私の研究方法です。

スライド１７

これから、アンケート調査の研究についてお話します。

スライド１８

これはアメリカのアンケート回答者の内分けです。アメリカの回答者は69人、そのうち女性は46人、男性は23人でした。

大多数は20歳から23歳までの女性でした。

スライド１９
日本人の回答者は45人で、性別の比率は大体同じです。

しかし、日本の大多数の回答者も20歳から23歳まででした。

スライド２０

研究質問１は日本とアメリカの新規卒業生も含む大学生はタトゥーに対してどのような見解を持っているか

でした。

スライド２１

アンケートの質問は、「一般的に、あなたの社会ではタトゥーについてどう思われていますか」です。アメリカ人はな意見と否定的な意見に分かれましたが、日本人はに否定的な意見が多かったです。

スライド２２

次は、「あなたの社会では、タトゥーを入れる人は何々というイメージをもつがあります」という質問でした。

日本とアメリカの回答者はタトゥーを入れた人について、何かに反抗心を表現している傾向があることが分かりました。

スライド２３：

あなたの意見として、「タトゥーを入れる人は 何々か」と尋ねました。そこで日本人の60％が怖いと思っているが、アメリカ人ではわずか2％でした。一般的に、両国共タトゥーを入れている人に肯定的な意見はでした。

スライド２４：

次の質問は「タトゥーを入れる一番適切な年齢はどれか」でした。両国の回答者は年齢は関係ないという意見が多かったですが、どちらの国でも15歳から18歳までは、タトゥーを入れるには適切な年齢ではないとしました。

スライド２５：

これは研究質問１のまとめです。

多くの日本人は、タトゥーに対して否定的なイメージを持っていますが、両国の文化においてタトゥーをしている人は、何かへの反抗 心の表れと考えられています。日本人はタトゥーをしている人を怖がりますが、アメリカ人 はほとんどが怖がっていないことが分かりました。

アメリカ人はタトゥーをしている人に対しては面白い人だと思っていることも分かりました。両国ともにタトゥーをした人は冒険的であると思われているようです。そして、両国ともタトゥーを入れる年齢は関係ないという見解を示しましたが、15歳から18歳まではタトゥーを入れない方がいいともいっています。

スライド26：

研究質問２はアメリカと日本の大学生はタトゥーをするかしないかをどのように決めるかです**。**これから、研究質問２の調査について話したいと思います。

スライド２7：

回答者に「**タトゥーを入れているか、いないか**」を尋ねました。アメリカ人は、タトゥーをしている人としていない人の割合は大体等しかったですが、

日本人は全体の７％にあたる３人だけがタトゥーをしていました。

スライド28：

有名人以外で、18歳から25歳までの女性と男性の中でタトゥーを入れている人を何人知っているか、と質問しました。アメリカ人は半分ぐらいの人がタトゥーを１０以上入れている人を知っている、と答えました。

スライド29：

２６人のアメリカ人と４２人の日本人になぜタトゥーをしたくなかったのかと質問しました。そこで、日本人とアメリカ人の42％は将来のことを考えて、タトゥーをしたくないと思っていることが分かりました。

アメリカ人は日本人と違って痛さや針の恐れより、どのようなタトゥーを入れるかをしているようです。

スライド30：

次に、タトゥーを入れているアメリカ人の回答者19人と日本人の回答者3がなぜタトゥーを入れたのかという理由です。3人の日本人はそれぞれ異なる理由を答えたのに対して、大多数のアメリカ人の理由は過去や大切な人、ペット等を忘れないためだと答えました。

スライド31：

このスライドは、どうして18歳から25歳の人はタトゥーを入れるのかについてです。日本人とアメリカ人の回答者は共に過去を忘れないためや自分のや家族に対する誇りだと答えましたが、アメリカ人はタトゥーのデザインも大切であると考えていることが分かりました。

スライド３2：

これはどうしてタトゥーを入れないのかについての意見です**。**両国の回答者は将来のことを考えてタトゥーを入れないと答えました。また、日本人は家族の意見にもであることが分かります。

スライド３3：

これから、ビジュアルの研究についてです。これらの写真は様々なタトゥーデザインを示しています。日本語の漢字、アメリカーナスタイルの船といチェストピースです。私は回答者にこの写真をどのくらい好きか好きではないかを尋ねました。

スライド34：

上のグラフは回答者の答えです。アメリカ人の方が日本人よりしたタトゥーに対して肯定的な意見を持っています。両国共に３番が一番好きなデザインでした。

スライド35：

これは、一人のアメリカ人の回答者のタトゥーについての引用です。「二人は同じタトゥーをしているが、違う意見を持っているかもしれないと思う」と答えました。

スライド36：

このスライドは研究質問２のまとめです。両国ともタトゥーを入れる理由はおもに過去を忘れないためであり、タトゥーを入れない理由は、将来のことを考えるからだということが明らかになりました。そして、過去を忘れないためにタトゥーを入れているというアメリカ人も多数いました。

両国ともタトゥーについて色々な事からプレッシャーを感じていますが、日本人の方がアメリカ人より家族や友達の意見は大切だと思っているようです。

スライド37：

これはアンケートの回答者からの様々な考え方です。たくさんあるので、大切な意見は**太字にしてあります**。多くの日本人は「親からもらった体を傷つけるのはいけない」という意見を書きました。「私は**アメリカに留学中**に多くのタトゥーを目にし、驚きました。文化の違いだと思い、受け入れるようにした」という日本人の回答者もいました。

アメリカ人の回答者からも興味深い意見がありました。例えば、「仕事場はタトゥーを受け入れなければならない」や、「タトゥーのネガティブなイメージは変わってきている」という意見です。両国共に、タトゥーにはまだ否定的なイメージがありますが、人はそのイメージについて変わって欲しいと思っていることも分かりました

スライド38：

最後に結論です。

私たちが思っているように、アメリカ人の方が日本人よりタトゥーを入れているという事が分かり、タトゥーを入れていない人の理由として**将来のこと**やタトゥーを入れるときの**痛み**を恐れてしれないようです。その上、日本とアメリカの社会において、タトゥーに対する考え方は未だに否定的です。更に、タトゥーはやにも関係すると認識されていることも分かりました。

また、日本人はタトゥーを入れている人を恐れますが、アメリカ人はタトゥーを入れている人を面白い人と言っていることは興味深いと思いました。

両国共にタトゥーを入れるのに年齢は関係ないとしていて、タトゥーを**入れる**理由はに過去を忘れないためだということです。そして、両国ともタトゥーを**入れない**理由は、主に将来のことを考えているからのようで、タトゥーの否定的なイメージはぬぐいきれないようです。

スライド39：

最後に、研究の点と将来の研究についてです。回答者の大多数が岡山県という一つののだったので、タトゥーを入れている人の数が非常に少なく、答えを一般化するのは難しかったです。

将来の研究として、ビジュアルの研究や ‘直接インタビューをしたり、年齢層が高い人も含めた調査をしてみたいと思います。

スライド40：

これは私の参考文献です。

スライド41：

最後のスライドは私ののです。~~様々な人がこのキャップストーンを手伝ってくれました。本当にありがとうございました。~~

以上で、私の発表を終わります。何か質問はありませんか？

    ほかに、質問はありませんか？

なければ、これで終わります。ごせいちょうありがとうございました。